



兵庫県



但馬

# 兵庫の未来を 切り拓く



播磨



丹波



神戸・阪神

あなたの  
県政  
ひょうご  
EYE

平成29年度版

淡路



兵庫県マスコット  
「はばタン」

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/>

# 兵庫の未来を切り拓く

## 変化する世界

国際社会では、先行きの不透明感が高まっています。

今年1月、米国で新政権が発足しました。アメリカ第一を掲げた政策転換が進んでいます。ヨーロッパでは昨年、英国がEU離脱を選択しました。長らく統合の道を歩んできた欧州で分裂の兆しが見え始めています。中国やロシアも独自の動きを強めています。

突出したリーダーがいなくなった世界は不安定さを増し、テロも後を絶ちません。貧富の差が拡大し、対立をおおる攻撃的な言動が目立ってきています。社会は分断の色合いを深めています。

一方で、経済のグローバルな結び付きは既に分かち難いものとなっています。人、物、資本が自由に動き回り、情報は瞬時に共有されます。

私たちの生活は、こうした世

界の動きからさまざまな影響を受けてます。

また、人工知能などの科学技術の発展や巨大災害の発生、気候変動なども社会に思わぬ変化をもたらします。

## 変化への対応

このような世界を生き抜くために必要なのは、変化への対応力です。

まず、想定外をなくす努力をしなければなりません。思い込みを排し、想像力を働かせて複数のシナリオを描いておく必要があります。

さらに、いかなる事態が起こるうとも、変化を積極的に取り込み、したたかに柔軟に対応していかなければなりません。

## 兵庫の道のり

兵庫が歩んできた道のりも、変化への対応の連続でした。

150年前の1868年、明治維新と時を同じくして兵庫

県が発足しました。当初は複数の飛び地を管轄する小さな県でしたが、1876年には、世界に開かれた神戸港の発展を支えるため、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる雄県兵庫が誕生しました。近代化の道を歩む社会の変化に対応するため、歴史文化、気候風土の異なる五国が一つになったのです。

20世紀は、「欧米に追い付き追い越せ」と、日本が急発展を遂げた時期でした。兵庫も工業化と都市化にまい進しました。戦後の焼け野原からの復興とそれに続く高度経済成長期には、ものづくり産業の発展と進取の気性に富む人材の活躍で、その一翼を担いました。この間、開発による自然破壊や公害の問題にも立ち向かってきました。

やがて日本が世界第2位の経済大国になり、従来型の成長の限界が見えてきた時期に、兵庫の転機となる阪神・淡路大震災が発生しました。

創造的復興の取り組みの過程から、量より質、物より心の豊かさ、画一より多様、標準より個性を大切にする県政にかじを切ったのです。

そして21世紀。成熟社会を迎える中で、本県は新たな県政への一歩を踏み出しました。これが、今につながる「参画と協働」の県政です。

この150年、県民は130万人から550万人に増え、街並みも大きく変わりました。社会の変化を的確に捉え、常に一歩先を見据えた地域づくりを進めてきたのが、私たちの兵庫県です。

## 自立への道

今、日本が直面している最大の変化が、人口減少と少子高齢化、そして東京一極集中です。

出生率は、この10年、上昇傾向にあります。しかし、少子化を食い止める水準とはまだ大きな乖離があります。安心して子



兵庫県知事  
井戸敏三

どもを産み育てることができ  
る社会づくりを進めなければ  
なりません。

介護の必要な方や、在宅で  
介護を行う世帯が増えています。  
老後の生活不安や貧困も広が  
っています。2025年には、団塊  
の世代が75歳以上になります。  
高齢になっても安心して暮ら  
せる地域づくりを急がねばなり  
ません。元気な高齢者が活躍す  
る場も増やす必要があります。少  
子化、高齢化への挑戦です。

また、若者を中心に東京圏へ  
の人口集中が続いています。東  
京一極集中は、過密による弊害  
や、国土の安全の確保などから  
問題であるだけでなく、地方を  
疲弊させ、日本全体の活力を損  
ないます。

若者が地方に移住、定住する  
には、その地方に魅力的な就業  
の場や思い切った新しい仕事を  
始められる環境が必要です。

今、これらの課題解決に向け  
て、地域創生に取り組んでいま  
す。それぞれの地域が持ち前の  
強みを生かして主体的に課題に  
取り組み、自らの手で将来を形  
作っていく、この「自立への道」  
を進まなければなりません。

## 地域創生を軌道に乗せる

地域から日本の未来を切り拓  
く。今こそ兵庫ならではの自立  
の道を歩み、地域創生を成し遂  
げようではありませんか。数々  
の変化やそれに伴う課題を乗り  
越えてきた兵庫ならできるはず  
です。

本県の地域創生は2年目に入  
ります。目指すは、人口が減つて  
も、少子高齢化が進んでも、活  
力を保ち続ける地域を創ること  
です。

地域創生に近道はありません。  
一つ一つの課題にしっかりと取  
組み、地域創生を軌道に乗せ、  
兵庫を新たな発展へと導かねば  
なりません。

### ▼地域創生の本格化

新年度の施策の第一の柱は、  
地域創生の本格化です。地域創  
生戦略に基づき昨年スタートし  
た取り組みを前進させます。

兵庫の未来を担う人づくり、  
県民の活躍の舞台となる働く場  
の充実、生涯にわたる暮らしの  
安心確保、地域ににぎわいを生  
み出す交流の拡大、これらの施  
策を総合的に展開し、元気な地  
域を創ります。

### ▼地域創生の基盤づくり

第二の柱は、地域創生の基盤  
づくりです。

安全こそ、県民の生活と社会  
経済活動の基です。阪神・淡路  
大震災から22年がたち、記憶の  
風化が懸念されます。震災の経  
験と教訓を生かし、災害対応力  
を進化させることは被災地の務  
めです。

ハード・ソフトの両面から防  
災減災対策を進め、県土の安全  
性を高めます。

活力ある地域に不可欠な交流  
基盤の充実にも取り組みます。

### ▼地域自立の推進

第三の柱は、地域自立の推進  
です。

県民の要請に的確に応えられ  
る行財政構造を実現するため、  
行財政構造改革の推進に関する  
条例を制定し、努力を重ねてき  
ました。収支不足は大幅に改善  
し、30年度の収支均衡という目  
標達成が視野に入っています。  
最終2力年の改革に取り組んで  
いきます。

また、地方が自己決定、自己  
責任を貫ける体制の確立を目指  
し、地方分権改革にも根気強く  
取り組みます。

## 県民と共に創る兵庫

地域が未来に向けて進んでい  
くためには、夢が必要です。日  
本の社会に閉塞感<sup>へいさく</sup>が漂っている  
とすれば、それは、人口や経済  
の成長に代わる新たな発展の方  
向を見いだせていないからだと  
考えます。先の見えない時代だ  
からこそ、これからどのような  
兵庫を創っていくのかを県民と  
共に考えなければなりません。

私たちは、21世紀の幕開けに、  
目標となる地域の将来像を示す  
21世紀兵庫長期ビジョンを県民  
と共に作り上げました。そして  
「参画と協働」を基本姿勢に、そ  
の実現に取り組んできました。  
これが今の兵庫の原点です。

折しも来年は、兵庫県発足  
150年の節目を迎えます。改  
めてこの原点に立ち返り、多様  
な地域に住まう県民一人一人の  
夢や願いを基に、これを見える  
化し、長期ビジョンの実現に向  
けた「2030年の展望」を策  
定します。

県政は県民と共に創り上げる  
もの。兵庫の未来を切り拓く新  
たな一歩を共に踏み出そうでは  
ありませんか。

# 平成29年度当初予算

厳しい財政環境の下、最終2カ年行革プランを基本に行財政全般にわたる改革に取り組むとともに、活力を保ち魅力ある兵庫を創る地域創生を軌道に乗せ、本格化させるための予算を編成しました。

## 予算編成の基本方針

▼行財政構造改革の着実な推進

最終2カ年行革プランで定める財政運営の目標達成に向け、改革の視点を踏まえ、行財政全般にわたる構造改革を着実に推進します。

▼新兵庫の創造「兵庫の未来を切り拓く」施策の推進

地域創生の本格化、地域創生の基盤づくりおよび地域自立の基盤づくりを県政の重点施策として、積極的に取

り組みます。

▼事業の「選択と集中」の徹底

新規事業の立ち上げに当たっては、既存事業をゼロベースで見直し、財源の確保に努め、事業の「選択と集中」の徹底を図ります。

▼国の動向等の適切な反映

国の政策動向や予算編成、地方財政対策についてその動向を十分注視し、県予算へ適切に反映します。

▼市町との連携・協調の推進

効果的・効率的な事業執行、県民の利便性向上を図るため、市町との適切な役割分担の下、連携・協調した事業を

展開します。

▼歳入確保対策の実施

財源確保を図るために、予算節約インセンティブ制度およびネーミングライツ、ふるさとひょうご寄附金をはじめとする歳入確保対策を積極的に活用します。

▼通年予算の編成

災害対策などの緊急的な対策を除き、通年予算を編成します。

## 歳入

【県税等】799.3億円

企業業績等を反映して法人関係税が増となる一方、地方消費税の減などにより、前年度を126億円下回る799.3億円を計上しました。

【地方交付税等】411.7億円

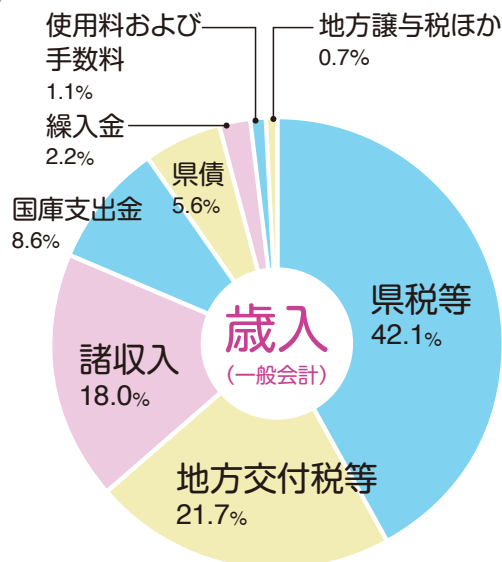
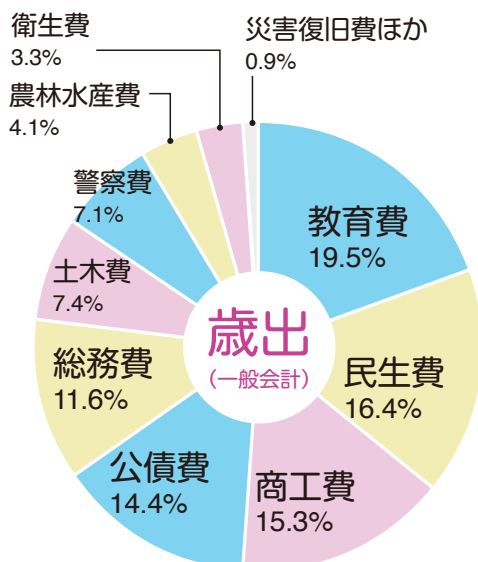
臨時財政対策債（116.5億円）を含む実質的な地方交付税は、基準財政需要額の減が基準財政収入額の減を上

## 平成29年度当初予算

総額 **3兆2,061億円**

対前年度比 **95.6%**

一般会計 **1兆9,038億円**  
特別会計 **1兆0,952億円**  
公営企業会計 **2,070億円**



回ることから、前年度を86億円下回る4117億円を計上しました。

### 【国庫支出金】1644億円

国民健康保険財政安定化基金積立のための交付金や地方創生推進交付金が増となる一方、教職員給与負担事務の神戸市への移譲に伴い、義務教育費国庫負担金が減少することなどにより、前年度を135億円下回る1644億円を計上しました。

### 【県債】1071億円

投資的経費に活用する県債は、緊急防災・減災事業債の減などにより、前年度を8億円下回る901億円を計上しました。財源対策に活用する退職手当債および行革推進債については、財政フレームに基づき、前年度を30億円下回る170億円を計上しました。

### ●県債残高

臨時財政対策債を含む県債残高（実際に償還すべき残高）については、前年度から201億円増加し、4兆6942億円となります。また、後年度に地方交付税で措

置される臨時財政対策債、減収補填債を除く県債残高は、前年度から580億円減少し、2兆9146億円となります。

## 歳出

### 【人件費】4673億円

教職員給与負担事務の神戸市への移譲に伴い、職員給および退職手当が減少することから、人件費全体では、前年度を661億円下回る4673億円を計上しました。

### 【行政経費】7853億円

中小企業制度資金貸付金において、融資実績等を踏まえ金融機関への預託金が減となる一方、社会保障関係費の自然増、地方創生推進交付金事業の増などにより、前年度を77億円上回る7853億円を計上しました。

### 【投資的経費】1836億円

普通建設事業費については、地方財政計画の水準を基本としつつ、第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画の推進などの事業費を別枠で確保しました。事業進捗に伴う災害

復旧・関連事業の減など（△16億円）により、投資的経費全体では前年度を11億円下回るものの、ほぼ同額の1836億円を計上しました。

### 【公債費】2749億円

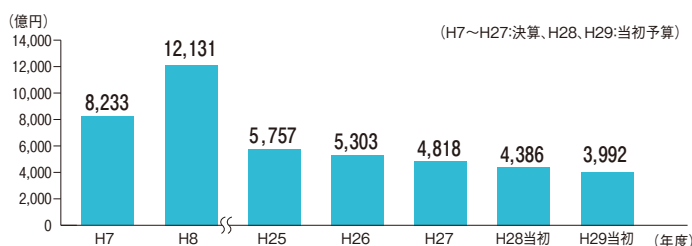
平成25年度に発行した臨時財政対策債の元金償還開始などにより元金が増となる一方、発行利率の低下により県債利子が減となることから、前年度を74億円下回る2749億円を計上しました。

## 収支不足に対する財源対策

歳入の一般財源は、前年度から187億円減の1兆2412億円、歳出の一般財源は前年度から337億円減の1兆2582億円となり、収支不足額としては、前年度の320億円を150億円下回る170億円となっています。

収支不足額は、最終2カ年行革プランの財政フレームにおける財源対策額の範囲内で退職手当債、行革推進債を発行することで対応します。

震災関連県債残高の推移（普通会計ベース）

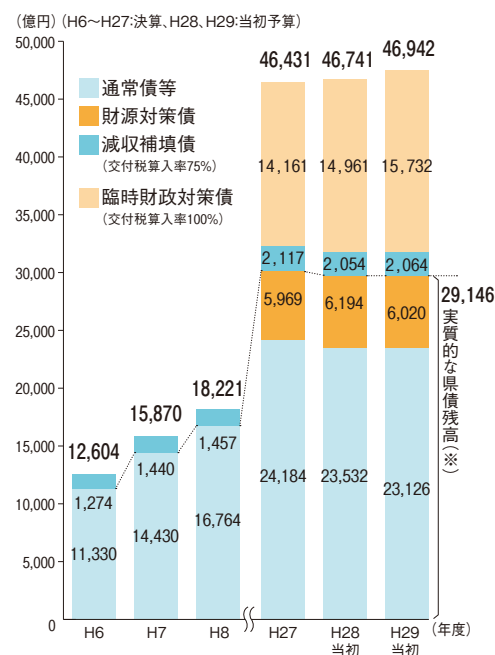


主な財政指標（財政運営の目標の状況）

| 区 分                           | H29年度当初                  | H30年度までの目標               |
|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 収支不足額                         | △170億円                   | 収支均衡                     |
| 実質公債費比率(単年度)                  | 15.3%                    | 18%水準                    |
| 県債残高<br>(臨時財政対策債、減収補填債75%を除く) | H19の83.5%<br>(2兆8,043億円) | H19の80%水準<br>(2兆6,874億円) |
| 将来負担比率<br>(震災関連県債残高を除く)       | 256.7%                   | 250%水準<br>(H19の全国平均水準)   |
| 県債管理基金積立不足率                   | 40.3%                    | H19の3分の2水準<br>(39%)      |
| 経常収支比率                        | 95.8%                    | 90%水準                    |

※教職員給与負担事務の政令市への移譲に伴う標準財政規模、超低金利環境を踏まえて平成28年度に実施した借換債の前倒し発行による県債管理基金残高等の影響を考慮した場合の数値

県債残高（今後、金融機関などに実際に償還すべき残高）の推移



※県債残高の総額から、後年度に地方交付税で措置される臨時財政対策債と減収補填債の残高を除いた県債残高



# 平成29年度の主な事業

## 地域創生の本格化

### 次代を担う人づくり

#### ● 出合いの場の充実

未来を担う子ども対策として、結婚から出産、子育てまで切れ目なく支援します。出合いの機会をつくるため、今年1月、ひょうご出合いサポートセンターに希望に合った相手を見つけられる新しい情報システムを導入しました。充実したお見合いブースも活用し、結婚するカップルを増やします。

#### ● 子育て支援

待機児童の解消に向け、保育施設の定員拡大に取り組みます。

保育人材を確保するため、経済的な支援が必要な人などに修学資金を貸し付け、5年間県内で就業すれば返済を免除します。技能向上を通じた

処遇改善のためのキャリアアップ研修も始めます。

子育ての経済負担軽減として、第2子以降を対象とした保育料の助成を拡充します。

病児・病後児保育では、勤務中で手が離せない親に代わって送迎を行う医療機関などを支援します。

放課後児童クラブを増設します。地域三世代家族の育成や、シニア世代によるふるさと文化の伝承など、地域で子育てを支える取り組みを進めます。

#### ● 学校教育の充実

ウェブ上の学習支援ツールを活用し、基礎学力の定着や一人一人の理解度に合った発展学習に取り組む小中学校を増やします。

小学校における外国語活動の充実を図るため、英語が堪能な地域住民の協力を得て授業を行います。全県立高校への外国語指導助手の配置を継



外国語指導助手と学ぶ英語キャンプ

続します。

運動部活動を活性化するため、専門的な技術指導を行う指導者を学校に派遣します。

県立高校では、学区の再編に合わせて学びの選択肢を増やすため、特色化を推進しています。来年4月には、県立武庫荘総合高校に福祉科を開設します。今後も工業、農業などの職業学科や、理数、国際などの専門学科の充実を検討していきます。

#### ● キャリア教育の充実

子どもたちの社会的自立に

必要な能力を伸ばす教育を充実させます。世界で活躍する兵庫ゆかりのクリエーターによる中学校での講話や実演、県内と海外の工業高校生同士の技術交流を始めます。キャリア発達を促すキャリア教育の視点を盛り込んだ体験活動の指導事例集も作成します。

#### ● 県立大学改革

理事長と学長を分離した新たな体制の下、県内にキャンパスを展開する県立大学の魅力向上に取り組みます。

この春開設する新たな「県立大学大学院減災復興政策研究科」では、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターと連携し、被災地ならではの防災減災の専門家を育成します。

姫路工学キャンパスでは新本館が完成します。7年後のリニューアル完了に向け、順次整備を進めます。

経済学部と経営学部の再編、

環境人間学部のコース再編も具体化します。

#### ● 職業人材の育成

社会の要請に応える職業人材の育成に取り組みます。

「森林大学校」が4月に宍粟市で開校します。森林に関わる幅広い知識、技術を身に付けた専門人材を養成します。

先端技術に対応できる中小企業の中核的技術者を育成するため、県立の職業能力開発施設に最新鋭の工作機械や3Dプリンターを導入します。

観光、芸術、食などの専門人材を育成するため、国が検討を進めている専門職大学の本県での可能性を研究します。

## 働く場の充実

#### ● 移住支援

移住支援と職業紹介を一体的に実施するため、カムバックひょうご東京センターにハローワークを併設し、首都圏



UJターンを呼び込む合同企業説明会

## ●県内就職促進

県内全ての大学と就職支援協定を締結しました。大学による企業説明会や見学会の開催を支援するとともに、転職を希望する第二新卒者向けの情報提供や窓口の設置を促し、若者と県内企業を結び付けます。

奨学金を返済する従業員負担軽減制度をつくり人材確保を図る中小企業を支援します。

## ●産業立地の推進

働く場を増やすため、県内全域での産業立地を支援します。平成29年度はさらに本社機能立地支援の新規雇用要件を緩和します。開発を抑制している市街化調整区域や農業振興地域における立地について、相談を受ける窓口をつくり、柔軟に対応していきます。

## ●空き家活用の推進

移住、定住の受け皿として空き家を活用します。若年世帯や子育て世帯を対象に空き家の改修費助成を充実させます。オールドニュータウンにおける住み替えの促進にも取り組みます。

## ●次世代産業の育成

経済発展のエンジンとなる新産業の創出も大切です。次世代産業といわれる航空、ロボット、医療機器、水素エネルギーなどの新製品開発やサプライチェーン構築を支援します。

航空機の部品を壊さずに内部の状態を調べる非破壊検査を中小企業が独自に実施できるよう、全国初の検査員養成所を県立工業技術センターに設置します。

## ●県内企業支援

3月にひょうご産業活性化センターが神戸市産業振興センタービルに移転し、中小企業のワンストップ支援体制が整いました。これを機に県と神戸市の中小企業融資制度を一元化します。融資枠は、神戸市独自の融資メニューを合わせて3600億円確保します。空き店舗や空き家を活用して行う事業への低利貸付も始めます。

## ●海外展開支援

海外展開する企業を応援するため、現地のサポートデスクをフィリピンなど3カ国で増やし、取引先の発掘まで含めた調査活動を支援します。成長著しいベトナムのホーチミン市との経済促進会議を立ち上げ、県内企業の進出と取引拡大につなげます。安全安心、高品質の県産食材の輸出を促進します。アジ

ア、中東、EUをターゲットに、展示商談会への参加などを通じて、県産食材の販路を開拓します。

## ●起業支援

起業支援では、女性、シニア、移住者が空き家を事務所などに改修して開業する際の支援を拡充します。遊休農地と空き家を一体的に活用した農園や農林漁業体験民宿の整備を引き続き支援するとともに、多自然地域における「T関連事業所の開設支援も充実させます。

## ●農業の成長産業化

「平成の御食国ひょうご」の実現に向け、農業の成長産業化を進めます。都市近郊の地の利を生かし、施設野菜の生産を拡大します。加西に開設した大規模温室のノウハウを応用し、低コストの環境制御システムや空調機器の導入を支援します。農業者の初期投資負担を軽



ひょうご次世代施設園芸モデル団地（加西市）

減する施設貸与事業は、農業機械のみ導入する場合も支援対象とします。

県認証食品のブランド力を強化し、流通拡大に結び付けます。有機野菜の生産技術を確認し、生産量を増やします。首都圏でのPRイベントや、コンビニエンスストアとのタイアップによる商品開発にも取り組みます。

農業の担い手として女性が期待されています。若い女性の就農促進、女性農業者のネットワークづくりなどに取り組みます。

## ●不耕作農地対策

不耕作農地が増えています。農地の貸し手と意欲のある担い手をマッチングする仕組み

の強化が必要です。農地中間管理機構による農地の集積・集約化と併せて、JAなどのコーディネートによる地域の話し合いと農地利用図の作成を支援します。農業機械の導入や人材確保を支援し、農地の受け手となるJA出資法人や集落営農法人の経営の安定、規模拡大を促します。

#### ●畜産物の生産拡大

畜産物の生産拡大に向けた取り組みを進めます。繁殖雌牛の増頭を計画的に推進します。但馬牛の魅力発信を強化するため、但馬牧場公園にある但馬牛博物館を改修するとともに、神戸でのPR拠点の整備を検討します。

#### ●県産木材の利用促進

大規模木質バイオマス発電所が赤穂と朝来の2カ所で操業し、丹波で3カ所目の建設が進んでいます。燃料となる間伐材などの安定供給のため、作業道の整備や高性能な機械の導入など、搬出の効率化を支援します。

ひき板を交互に組み合わせ、高い強度を持つパネル材、CLTの普及により県産

木材の利用を広げます。市街地におけるCLTを使用した中高層建築物としては全国初となる林業会館の整備を支援します。

#### ●水産資源の増殖・適正管理

瀬戸内海を豊かな海に再生します。大規模漁場「第2の鹿ノ瀬」の整備を着実に進めます。水産資源の維持に必要な栄養塩類の効果的な供給や偏在解消の手法を検討します。漁業者の操業を支援するため、海域ごとのきめ細かな栄養塩レベルを把握する漁場環境観測システムを整備します。藻場・干潟の再生にも取り組みます。

日本海では、ズワイガニなどの水産資源の回復に向けた漁場整備を推進します。



ため池のかいばりによる栄養塩の供給（洲本市）

### 暮らしの安心確保

#### ●施設介護の強化

介護が家族の重い負担となり、不幸な出来事が起きています。施設介護の強化と在宅介護体制の整備が必要です。特別養護老人ホーム（以下、特養）は、計画を前倒しして整備を推進し、待機者の解消を目指します。規模の小さな特養の整備を加速します。

サービス付き高齢者向け住宅の入居者の7割程度が要介護となつています。特養と同等のケアが可能な同住宅の整備を支援します。

#### ●在宅介護サービスの充実

在宅介護の中核を担う24時間対応の定期巡回・随時対応サービスを県内全域で利用できるようにする必要があります。

課題は、都市部における事業者の参入促進と、多自然地域における事業者の確保です。事業者や特養などの施設が参入できる環境をつくるため、障壁となつている人件費負担を軽減します。サービスの利用が広がるよう、ケアマネジ

ヤー、利用者双方への普及啓発活動も行います。

#### ●認知症施策の充実

認知症対策で大切なのは、予防と早期発見です。予防体操の普及を図るとともに、早めの気付きを促すため、特定健診の機会に認知症チェックシートを活用した認知症予防健診を実施する市町を募集します。

高齢運転者の交通事故防止に向け、認知機能検査と高齢者講習を充実させます。

#### ●健康づくりの推進

健康寿命を延ばすためには、社会全体で健康づくりに取り組むことが大切です。

働き盛り世代の健康づくりに取り組む企業をチャレンジ企業として登録しています。模範的な取り組みを表彰し、優良事例の周知を図るとともに、健康づくり講座を開催します。登録企業が実施する女性特有のがん検診への支援を継続します。

ビッグデータを活用した健康づくりに着手します。特定健診や医療費のデータを組み合わせ、解析し、個人の生活



健康づくりチャレンジ企業で開催される健康セミナー

習慣の改善に役立てることを目指します。29年度は、データー連携や解析の手法を検討します。

#### ●地域医療の充実

地域医療構想に基づき、機能別に必要な病床の確保を目指します。急性期病床などから、不足が見込まれる回復期病床への転換を促すため、施設の増改築や機器整備を支援します。在宅医療を推進するため、地域の病院間で患者情報を共有するネットワークを拡充します。

医師の地域偏在解消に向け、県養成医師制度により、へき地などに勤務する医師の養成を着実に進めます。

保健医療計画の改定に向け、二次保健医療圏の在り方や、

医療機関の広域連携方策などを検討します。

### ●県立病院の整備

小児がん患者への陽子線治療を最大の特長とする「神戸陽子線センター」をこども病院の隣接地に開設します。

光風病院では、認知症患者医療センターの指定や老年精神科の設置などにより、幅広い年齢層に精神科医療を提供する体制を整備するとともに、名称を「ひょうごこころの医療センター」に改めます。

柏原病院と柏原赤十字病院、姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院をそれぞれ統合した新病院の整備を進めます。西宮病院と西宮市立中央病院



本年度開設する神戸陽子線センター(完成予想図)

の在り方については、委員会の報告を踏まえて検討を進めます。

### ●高齢期移行助成事業

所得や身体的な理由で自立できない65歳から69歳の人を対象とし、新たに医療費助成を行います。なお、平均寿命の伸びなどを踏まえ、老人医療費助成事業は廃止します。

### ●障害者の安全安心確保

障害者の安全安心の確保として、障害者支援施設に防犯マニュアルを配布します。職員研修を通じて障害特性に応じた支援のスキルアップを図ります。

視覚障害者の駅ホームからの転落事故が発生しています。白杖を持った人などに対する声かけが不可欠です。本県が先導的に取り組んできた「みんなの声かけ運動」を強化するとともに、転落防止のための駅ホームドアの整備を支援します。

### ●障害者の就労支援

通勤・通所が困難な障害者の在宅就労を支援します。自宅で業務を受注できる情報システムをつくり、仕事を開拓

暮らしに「ぬくもり」を贈ります

## NUKUMORI

障害のある人が地域の障害福祉事業所で作った雑貨やスイーツのインターネットショップです。新商品も続々登場しています。ぜひ、アクセスしてください。

[+NUKUMORI](#) [検索](#)

### 交流の拡大

#### ●ツーリズムの振興

定住人口が減っても交流人口を増やすことで、地域のにぎわいを生み出すことができます。

海外からの誘客数を32年に300万人とすることを目指し、神戸、姫路城、城崎温泉な

ど知名度の高い観光スポットを結び「ひょうごゴールデンルート」に重点を置いたプロモーションを展開します。「モノ消費よりコト消費」といわれるように、体験を重視する旅行者のニーズに合った四季折々の周遊プランの開発に取り組みます。

世界最大の旅行クチコミサイトと連携して兵庫の認知度を高めめます。

無料WiFi環境の整備や多言語案内看板の設置、トイレの洋式化など、外国人の受け入れ環境を整えます。

有能な人材を観光分野に呼び込むための観光産業のイメージアップにも取り組みます。

### ●国際交流の推進

29年度は、広東省友好提携35周年、西オーストラリア州友好提携35周年、ドイツ・シユレスヴィヒ・ホルシュタイン州友好提携20周年を迎えます。訪問団を派遣し、友好の絆を深めます。

昨年相互協力の覚書を交わしたインド・グジャラート州とは経済分野などの交流を進めます。

### ●生涯スポーツの振興

アジアで初めて開催される生涯スポーツの祭典、ワールドマスターズゲームズ2021関西の競技種目、開催地が決まりました。県内では、9市町で13種目の競技が行われます。実行委員会を設立し、4月にニュージールランドのオークランドで開催される大会に視察団を派遣するなど準備を本格化させます。

9月には、日本スポーツマスターズ2017兵庫大会が開催されます。大会の成功を目指すとともに、参加者を県内の観光地に呼び込みます。

### ●六甲山の活性化

日本一の都市山、六甲山の魅力を生かして内外から人を呼び込みます。遊休施設の再生利用を神戸市と共に支援します。登山者の休憩や交流の拠点とするため、自然保護センターの機能を強化します。

### ●淡路島の活性化

県立淡路島公園にアニメをテーマとする新たな交流拠点「ニジゲンノモリ」が生まれます。大阪湾を望む丘陵地に広大な花畑が広がる、あわじ

花さじきに展望デッキなどを整備します。世界遺産を目指す鳴門の渦潮と共に淡路島の活性化を進めます。

### ●芸術・文化の振興

県立美術館では「大エルミタージュ美術館展」兵庫陶芸美術館では「今右衛門の色鍋島」、県立歴史博物館では「ひょうごの美ほとけ」、県立考古博物館では「青銅の鐸と武器」などの企画展示を行います。

寄贈を受けた300面を超える貴重な古代中国鏡を展示する「県立考古博物館加西分館」を4月14日にオープンします。開館を記念し、4月か



4月にオープンした県立考古博物館加西分館

ら企画展を開催します。

丹波竜が発掘された地層では、新たな化石の発見が期待されます。県立人と自然の博物館において、化石クリーニングを加速するとともに、住民参加型の発掘調査を行います。恐竜化石を地域活性化に生かすフィールドミュージアム構想も推進します。

### 県政150周年

30年7月12日に本県は成立150周年を迎えます。この節目を、これまでの歩みを振り返り、これからの兵庫を考える契機として生かしていきます。

県政150周年の機運を盛り上げるため、7月にシンポジウム、秋にプレフェスタを開催します。

「兵庫県百年史」に続く県史の編纂に着手し、子ども向けには、親しみやすい歴史学習の教材を作成します。

高校生による地域の未来を考える取り組みや、県民が主体となって実施する多彩な記念事業を支援します。

県庁発祥の地である兵庫運河周辺での記念施設の整備に向けた検討を進めるなど、地域ごとの記念事業を展開します。

今後の兵庫づくりの基本方向を2030年ごろの兵庫の姿として分かりやすく示し、県民と共に取り組みます。

### 県政150周年

兵庫県が成立したのは神戸開港の半年後、慶応4（1868）年5月23日（新暦7月12日）でした。初代知事は、後に初代内閣総理大臣となる伊藤博文。当初は神戸を中心に複数の飛び地を所轄する小さな県でしたが、その後の廃藩置県や併合を経て、明治9（1876）年に現在の県域とはほぼ同じ姿となりました。

### 地域創生の基盤づくり

### 安全の確保

### ●地震・津波対策

南海トラフ地震とそれに伴い生じる津波に備えるため、防潮堤や防潮水門の整備、橋



阿万港で進む防潮堤の整備（南あわじ市）

や下水道施設の耐震化を進めます。

避難所となるホテル・旅館や民間住宅の耐震化を支援するとともに、県有施設の耐震化や老朽化対策も計画的に推進します。

### ●風水害対策

風水害が頻発しています。土砂災害により建築物が破壊される恐れのある区域を特別警戒区域に指定するとともに、住宅の補強・移転などを支援します。

治山ダムや砂防えん堤の重点整備、災害に強い森づくり、ため池の改修も急ぎます。

新たな取り組みとして、利水専用ダムである神戸市の千

刈ダムにおいて、洪水期にあらかじめ水位を低下させ、空き容量を確保する治水活用に向けた調査に着手します。

### ●地域防災力の強化

災害時に直ちに必要ない行動が取れるよう、訓練は繰り返しすることが大切です。本年度も瀬戸内および淡路島沿岸15市町の津波一斉避難訓練を実施します。警察、消防、自衛隊との合同防災訓練は丹波地域で実施します。

災害時要援護者対策を強化します。「ひょうご防災減災推進条例」を定め、避難行動要支援者名簿の事前提供、個別支援計画の作成など地域の主体的な取り組みを促進します。

### ●地域安全の確保

安全な地域をつくるためには、身近な異変を見逃さず、確実に関係機関に引き継ぐことが大切です。匿名でも通報できるひょうご地域安全SOSキャッチ電話相談を通じて事件の未然防止や早期解決を図ります。近隣住民が日頃から相互で見守りをする関係づくりを支援します。

## ひょうご地域安全 SOSキャッチ電話相談

日常生活の中で地域の安全・安心に関する異変に気付いたら、気軽に通報・相談してください。

電話番号 **☎078 (341) 1324**

相談時間 月曜～金曜 9時～16時  
※12月29日～1月3日、祝休日を除く

## ひょうご性被害ケアセンター 「よりそい」

性暴力被害者の心身の負担軽減などのため、専用相談窓口を設け、医療費助成や、医療機関への同行支援、法律相談、心のケアなどを実施します。

電話番号 **☎078 (367) 7874**

相談時間 月曜～土曜（木曜、祝休日を除く）  
10時～16時

法的な対応が必要な児童虐待が増えているため、弁護士と連携し、こども家庭センターの対応力を強化します。児童虐待の早期発見・対応を進めるため、医療機関のネットワークづくりに取り組みます。県内の自殺者が19年ぶりに



整備が進む山陰近畿自動車道（浜坂道路）

### 交流基盤の整備

#### ●基幹道路ネットワークの整備

基幹道路ネットワークは、県土の骨格を成し、地域発展の基盤となるものです。大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパス、中国横断自動車道姫路

千人を下回りました。一方で、悩みを持ち、相談を求める人が増えていることから、24時間電話相談体制を強化します。性暴力被害者の多くは誰にも相談できない状況にあります。相談と医療機関への橋渡しを一体的に行う、ひょうご性被害ケアセンター「よりそい」を新設します。

鳥取線、東播磨道の早期整備、名神湾岸連絡線、播磨臨海地域道路の早期事業化、北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道は、早期整備と併せ、接続部の調査など、市町、経済界と共に国に働き掛け、整備を推進します。

さらに、おおむね30年後を見据えた基幹道路ネットワークの姿を示す新たな基本計画の策定に着手します。

#### ●港湾の利用促進

姫路港ににぎわいを取り戻すため、旅客ターミナル一帯のリニューアル計画策定に取り組みます。姫路港と神戸港を結ぶ内航フェリー航路の開設に向けた検討を行います。

#### ●関西3空港の最大活用

民営化する神戸空港の運営会社が今年決まる予定です。関空、伊丹に神戸を加えた関西3空港の最大活用に向けて、経済界、関係府県市と連携し、3空港一体運用の早期実現を目指します。

#### ●コミュニティバス支援

生活に不可欠な交通手段として地域住民などが運行するコミュニティバスの存在感が

高まっています。地域の移動手段を維持していけるよう、立ち上げ経費に加え、車両購入経費を支援します。

### 都市基盤の充実

#### ●都市再生の推進

三宮駅周辺を兵庫の玄関口にふさわしい国際競争力のあふ魅力ある街に再生しなければなりません。神戸市と連携し、特定都市再生緊急整備地域における整備計画の策定に取り組みます。

県・神戸市の協調事業として、新長田合同庁舎の整備を進めます。

### 教育環境の充実

#### ●県立学校の整備

県立学校の長寿命化を計画的に進めるとともに、トイレの洋式化や空調設備の導入などの環境改善を進めます。

#### ●就学支援の充実

高校生がいる低所得世帯を対象に、学用品費などの負担を軽減する奨学給付金を増額します。

奨学金の返済が大きな負担となる若者が増えています。高等学校奨学資金貸与事業では、新たに低所得者の返還を猶予します。

私立高校や幼稚園などに対する経常費助成を充実します。

#### ●いじめや問題行動への対応

いじめや問題行動など子どもを取り巻く課題は複雑多様化しています。心のケアに当たるスクールカウンセラーと、福祉面から支援を行うスクールソーシャルワーカーの配置を増やし、学校を支援します。

### 自然との共生

#### ●地球温暖化対策の推進

パリ協定に基づく国の新たな温室効果ガス削減目標を踏まえ、新たな地球温暖化対策の計画を策定し、低炭素社会の実現に向けた取り組みを進めます。

#### ●再生可能エネルギーの導入促進

小水力発電やバイオマス発電など地域資源を生かした地域活性化の取り組みを応援し、バランスの取れた再生可能エ



市街地に現れたイノシシの群れ

野生動物による農林業被害は着実に減少しています。さらに被害を減らすため、29年度もシカ4万5千頭、イノシシ1万5千頭を目標に捕獲を

●**野生鳥獣害対策**

県内各地に整備された大規模な太陽光発電施設が、本県のエネルギー自立に大きく貢献しています。その一方で、景観など地域環境との調和が課題となっています。新たに条例を制定し、施設基準や近隣関係者への説明などの事前手続きを定めます。

●**太陽光発電施設の設置適正化**

ネルギーの導入を促進します。また、新たに家庭用蓄電池の導入を支援します。

単に捕獲するだけでなく、捕獲したシカの有効活用が大切です。処理加工施設への搬入を助成するとともに、新たな処理加工施設の整備や、移動式解体車の購入を支援します。活用できない個体の容積を減らす施設の整備を支援するなど適正処理も推進します。

●**ナラ枯れ対策**

ナラ枯れが拡大しています。里山の景観が損なわれ、森林の防災機能への影響も懸念されます。重点対策区域を指定し、被害を受けた木の駆除など拡大防止作戦を展開します。

ツキノワグマの出没が増え、住民に不安感を与えています。捕獲と追い払いにより人身事故の防止を図ります。生息数の調査も進めます。

カワウやアライグマなどの有害鳥獣対策にも取り組みます。

狩猟者の高齢化が進んでいます。射撃訓練や捕獲技術の研修を行う「狩猟者育成センター（仮称）」の整備に向け検討を始めます。

## 地域自立の推進

### 地方分権の推進

地域創生を実現するためには、地域の多様性を生かした取り組みを地方の権限、財源、責任で進められるようにしなければなりません。

国の権限を限定する観点から地方分権が進むよう、提案募集方式の見直しや大きくりの権限移譲を粘り強く国に求めていきます。

## 県民との情報共有

県政推進の原点である「参画と協働」をさらに進めるためにも、県民との情報共有は欠かせません。テレビ、ラジオ、広報紙、インターネットなど多様な広報媒体を活用し、効果的な広報に取り組みます。県の魅力を強力に発信するためには新たな広報戦略が必要です。新たに有識者で構成する委員会を設置し、既存の広報媒体の活用方法の見直し、新しい広報手法を検討します。

## 関西広域連合の取り組み

関西広域連合では、今後3年間の取り組みの指針となる第3期広域計画を策定しました。防災をはじめとする7分野の広域事務の実施や広域課題に対する企画調整、国からの事務や権限の移譲などに関西一丸となって取り組みます。 ☎広域調整課 ☎078 (362) 4006 ☎078 (362) 4479

### 広域防災

災害に備え、被災者支援を円滑に行うため、防災・減災力の向上に向けた事業や、実効性の確保のための広域応援訓練を実施しています（平成29年度は本県で実施予定）。さらに、防災から復興まで一連の災害対策の中核となる「防災庁（仮称）」の創設に向けた啓発活動を展開します。



毎年実施している関西広域応援訓練

### 広域医療

救急搬送体制のさらなる充実を目指し、平成29年度末には鳥取・兵庫エリアを担当する「鳥取県ドクターヘリ」の運航を開始します。関西全域をドクターヘリ7機がカバーし、安全・安心を支えます。



日本一の出勤実績を誇る公立豊岡病院ドクターヘリ

### 広域観光・文化・スポーツ振興

関西への外国人旅行者誘致のため、官民一体となって、広域連携DMO「（一財）関西観光本部」を設立し、戦略的な観光プロモーションなどを実施します。さらに、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西等の開催に向け、関西文化の魅力などを発信し、国内外にわたり「KANSAI」の知名度向上を目指します。



香港で開催された関西観光展

# 最終2カ年行革プランの策定

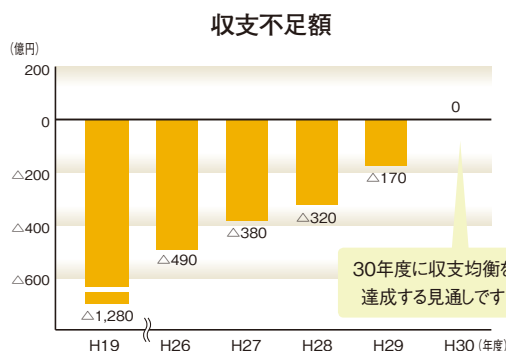
県は、阪神・淡路大震災からの創造的復興を成し遂げるため、約1兆3千億円に上る震災関連県債を発行しました。この悪化した財政を立て直すため、平成30年度を目標年度として、行財政全般にわたる改革に全力で取り組んでいます。

このたび策定した最終2カ年行革プラン（29年度～30年度）では、目標とする構造改革を確かなものとするための取り組みに加え、行財政構造改革を成し遂げた後の県の目指すべき施策の方向性、そして31年度以降の行財政改革の在り方について取りまとめました。

改革の成果である確固たる行財政基盤の下で、人口が減少する中にあるにも、兵庫の強みである「多様性と連携」を基本に、県民が豊かさを実感し、将来への夢を描ける兵庫を創っていきます。

## 財政収支の見通し

30年度において、収支均衡を達成する見通しです。



## 主な改革内容

### ◎組織

本庁組織について、総合的かつ機動的に施策を展開する

ため、5部体制を維持した上で、健康福祉部内に福祉部長を置きます。

県民局・県民センターについては、地域の政策課題に対し総合的機能を発揮するため、7県民局3県民センター体制を維持します。

### ◎定員

一般行政部門などにおいて、引き続き、おおむね3割の定員削減（20年度～30年度）を進めます。

また、適正な定員管理を行う中で、年齢構成の平準化に向けた計画的な職員採用を行います。

### ◎給与

27年度から段階的に縮小を開始した給与抑制措置について、行財政構造改革期間中における県の財政状況などを踏まえ、30年度末までの解消に向けて取り組みます。

## 【主な見直し事業】

### ■老人医療費助成事業の廃止と高齢期移行助成事業の創設

平均寿命の伸びなどを踏まえ、現行の老人医療費助成事業は6月末で廃止（経過措置あり）。所得あるいは身体的理由等で自立できない特別な配慮が必要な65歳～69歳の人を対象とした医療費助成事業を7月に創設。

### ■民間社会福祉施設運営支援事業の見直し

国が職員給与のさらなる改善を行う中、公定価格などの算定外となっている加配人員に対し、国と同等の支援とすることで、施設全職員の確実な処遇改善を促進。

### ■旅券事務所の土日開庁

各事務所において土日開庁（平日2日開庁）し、旅券の申請受け付けと交付ができる体制に拡充（30年度予定）。

### ◎事務事業

「選択と集中」を基本として、時代の変化や県と市町の役割分担などを踏まえた見直しを行うとともに、仕事の進め方の見直しなどにより業務執行の一層の簡素化・効率化を図ります。

### ◎投資事業

29年度以降については、地

### ◎公的施設

方財政計画の水準を基本に、県の喫緊の課題である第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画の推進や、地震・津波対策等耐震改修事業および公共施設等の長寿命化・環境整備対策などの事業費を、地方交付税措置のある有利な県債を活用し、別枠で確保します。

理計画」に基づき、施設総量の適正化や財政負担の軽減・平準化を図る老朽化への対応を推進します。

## ◎公社等

社会経済情勢の変化や公社等経営評価委員会からの提言などを踏まえ、引き続き公社等の必要性を検証するとともに、個別の機能を生かした行政サービスや新たな事業展開などさらなる改革を進めます。

## 新たな施策展開

収支均衡など行財政構造改革を成し遂げた基盤の上に、県民ニーズや時代潮流を的確に捉え、人口減少の中でも活力と魅力あふれる兵庫を築くため①兵庫の未来を拓く地域創生を進める②地域創生を支える社会基盤をつくる③健康で安心できる兵庫をつくる④だれもが活躍できる社会をつ

くる⑤県政150周年を機に新たな県政を展開するための施策を推進します。

## 31年度以降の 行財政改革

現行の行革推進条例に基づく構造改革は、条例の規定どおり30年度をもって終了します。

一方で、実質公債費比率等は依然として高い水準にあることに加え、世界経済や日本経済の見通し、これに関係する県税収入の動向、地方財政計画の見通しなどを十分に見極める必要があります。

31年度以降においても、健全な行財政運営を維持できるよう、不断の改革は不可欠であり、30年度に行う行革の検証と併せて、31年度以降の行財政規律の確保に関する基本的な枠組みについて検討します。

## ◎新行政課

☎078(362)3045 ☎078(362)9478

詳細は県ホームページに掲載しています

兵庫県 行革 検索

## 地域創生の取り組み

県では、平成27年度に策定した兵庫県地域創生戦略に基づき、人口減少社会が抱える構造的な課題に中長期的な視点で挑む「地域創生」に取り組んでいます。

人口の「自然増対策」、「社会増対策」と「地域の元気づくり」の3本柱の施策を展開し、兵庫らしい地域創生の実現を目指します。

☎地域創生課 ☎078(362)4221 ☎078(362)3950

兵庫県 地域創生 検索

## ひょうご出会いサポートセンター

県内10カ所および東京都に出会いサポートセンターを設置し、個別お見合い事業など出会い支援事業を実施しています。

☎☎078(891)7415 ☎078(381)6829

ひょうご 出会い 検索

## カムバックひょうごセンター(神戸) カムバックひょうご東京センター

U/Iターンを促進するため、移住相談や地域の各種支援策などの情報提供を行う総合窓口を神戸市と東京都に設置しています。

☎(神戸) ☎078(360)9971 ☎078(360)0071  
(東京) ☎03(6262)5995 ☎03(6262)2730

カムバックひょうご 検索

## 地域創生関連情報サイト「ひょうごBENTO」

仕事、移住、観光、出会いなどの情報を発信しています。

ひょうごBENTO 検索

## 兵庫県公式地域創生Instagram

一般の方がハッシュタグ「#lovehyogo」を付けて投稿した兵庫県に関する写真を、写真共有型SNSのInstagramで紹介します。

Instagram 兵庫 検索

# 県議会とは

県議会は、豊かで住みよい兵庫を実現するため、県民の選挙で選ばれた議員（任期4年）が、県政の基本的な事項について話し合い、決めていく場です。

議会広報PRキャラクター  
ひょうごはかせ「兵議博士」



県議会には、定期的に開かれる「定例会」（年4回／2月、6月、9月、12月）と、必要に応じて臨時に開かれる「臨時会」があり、全議員が出席し、県の意思決定を行います。

限られた会期の中で、多くの議案などを審議・審査するため、少人数の委員会を設け、専門的に詳しく審査しています。

## 議会運営委員会

## 常任委員会

総務、健康福祉、産業労働、農政環境、建設、文教、警察

## 特別委員会※

予算特別委員会  
決算特別委員会

※予算特別委員会は2月定例会で、決算特別委員会は9月定例会で、それぞれ設置されることが通例となっています

本会議

## 県議会ホームページ

県議会の概要や最新のトピックス、傍聴のご案内のほか、本会議や常任委員会などの審議状況をインターネットによりライブ中継と録画配信しています。また、県議会フェイスブックやスマートフォン向けに本会議録画配信も実施しています。

[兵庫県議会](#) [検索](#)

## ひょうご県議会だより

4月・7月・11月・1月発行（全世帯配布議会広報紙）／2月・6月・9月・12月定例会の審議内容等を紹介しています。

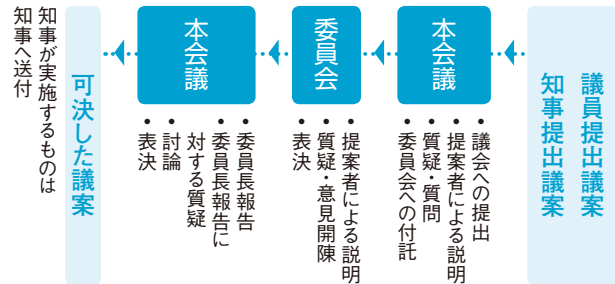
## 議会総合誌「はい、県議会です。」

年1回発行／議会の役割や仕組み、常任委員会活動などを紹介しています。

本会議の傍聴については

◎議会事務局総務課 ☎078(362)3708 F078(362)3924

県議会では、知事や議員から提出された予算、条例などの議案の審議のほか、意見書の提出・決議、県政の調査・検査、請願・陳情の審査などを行います。議会に提出された議案は、本会議から関係する委員会に付託され、審査・調査が行われた後、本会議において議決されます。



議案成立までの流れ

# 県の情報・魅力を発信しています

## テレビ番組

日曜8時30分～9時放送  
（再放送：月曜18時～18時30分）

## サンテレビ



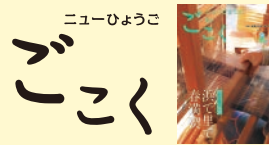
第3日曜（1月を除く）／  
知事が地域で活躍する  
県民との対談などを  
通じて、県政推進の考  
え方を語るトーク番組。

## 広報紙・誌

兵庫県広報紙  
県民だより

## ひょうご

毎月発行（県広報紙）／県の重要施策をはじめ地域の魅力や取り組み、県からのお知らせなどを紹介しています。



年4回発行（300円）／県内の魅力あふれる情報を美しい写真と共に掲載。定期購読（1,200円）は年4回、送料無料でお届けします。書店でも販売。

## 点字広報紙「広報ひょうご」

毎月発行／県政の動きなどを紹介。目の不自由な人に点字でお届けしています。制作発行：（社）兵庫県視覚障害者福祉協会

## 声の広報「愛の小箱」

毎月発行／県政の動きなどを紹介。目の不自由な人にCDでお届けしています。制作発行：（社）兵庫県視覚障害者福祉協会

## インターネット

### 兵庫県ホームページ

主要施策、防災情報、イベント等の県政情報のほか、知事定例記者会見などを視聴いただけます。

[兵庫県](#) [検索](#)

### ひょうごチャンネル

県のイベント、広報番組などを動画で紹介するほか、魅力ある地域資源の動画素材を無料で提供しています。

[ひょうごチャンネル](#) [検索](#)

### メールマガジン

ひょうごさわやか通信  
県政ニュースやお出掛け情報などを毎週配信しています。

[ひょうごさわやか通信](#) [検索](#)

日曜（第3日曜を除く）／  
県の取り組みや地域のホットな話題などを広報専門員が分かりやすく紹介する情報番組。

清水広報専門員（左）と高曾根広報専門員

## ラジオ番組

### ラジオ関西

#### こちら知事室！井戸敏三です

第2火曜8時7分～33分／ワイド番組「三上公也の情報アサイチ」に知事が出演しています。

#### 兵庫県からのお知らせ

月曜～金曜7時7分ごろ

### Kiss FM KOBE

#### 兵庫県からのお知らせ

土曜18時55分ごろ

### 「311 from 117 Hyogo」Twitter

東日本大震災被災地支援に関する情報や県内の防災情報等を提供しています。

[311 from 117 Hyogo](#) [検索](#)

### ふるさと兵庫「すごいすど」

兵庫を元気にしている人やふるさと兵庫の魅力を発信するネット情報誌です。

[すごいすど](#) [検索](#)

### ライン「はばタン」

兵庫県マスコット「はばタン」が、毎週情報をお届けします。右のQRコードから「友達追加」を選択してください。「はばタン」スタンプ販売中。



### さわやか提案箱

県に対するご意見を募集しています。

[さわやか提案箱](#) [検索](#)

### フェイスブック「はばタンなび」

兵庫県マスコット「はばタン」が、観光やイベント情報など「ひょうごの魅力」をお届けしています。

こんにちは、はばタンです。ぼくのフェイスブックを知ってる？遊びに来て「いいね」を押してくれたらうれしいな

[はばタンなび](#) [検索](#)



# ひょうごのすがた



県旗▶セルリアンブルーをバックに、波の形をデザインした「兵」の字を白く抜き、南北を海に接した県の姿を象徴しています。(昭和39年制定)



県花・ノジギク▶NHKが郷土の花を募った時、兵庫県の花として選ばれました。11月ごろ白い花を咲かせます。(昭和29年選定)

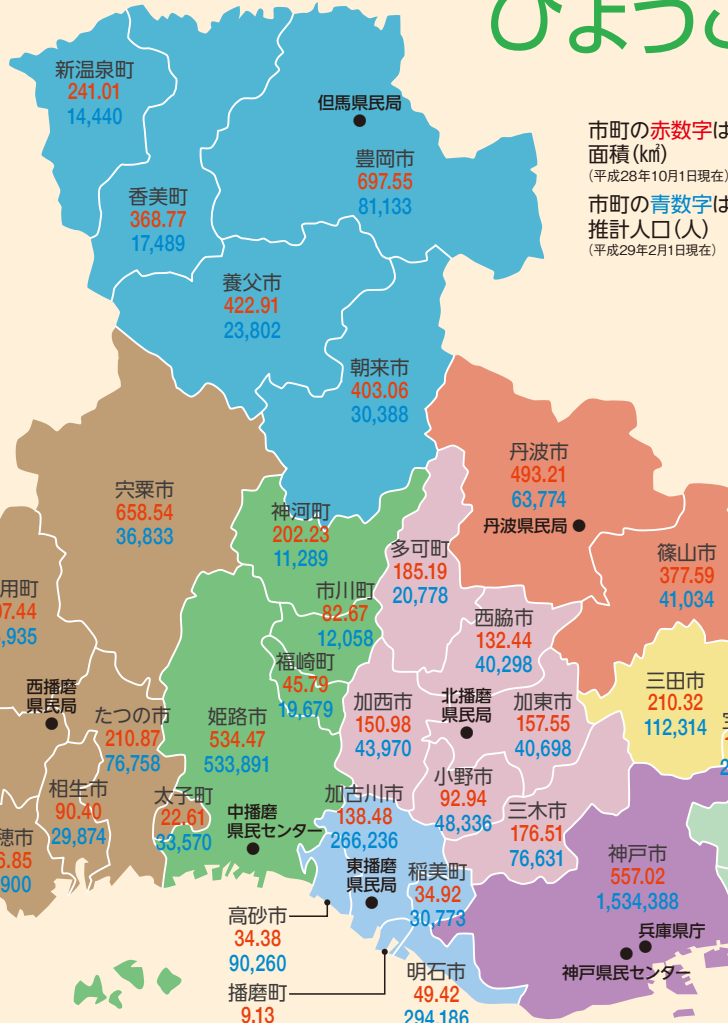


県樹・クスノキ▶強健で雄大な姿が県のイメージと合います。県の天然記念物に指定されている樹もあります。(昭和41年制定)



県鳥・コウノトリ▶昭和31年に国の特別天然記念物に指定。但馬地域で保護・増殖、環境整備に取り組み、平成17年9月、野生復帰に向けた試験放鳥に成功しました。(昭和40年制定)

北緯35度40分  
豊岡市竹野町猫崎



|        |                                           |
|--------|-------------------------------------------|
| 総人口    | 553万4,800人                                |
| 全国7位   | 総務省「平成27年国勢調査」                            |
| 面積     | 8,400.93km <sup>2</sup>                   |
| 全国12位  | 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成28年10月1日現在)       |
| 県GDP   | 21兆7,512億円                                |
| (固定基準) | 県統計課「四半期別兵庫県内GDP速報」(平成29年3月)「(平成27年度速報値)」 |

東経135度28分  
川西市黒川

西  
東経134度15分  
上郡町行頭

南  
北緯34度04分  
南あわじ市沼島

## ひょうごの暮らし

|                                      |                  |
|--------------------------------------|------------------|
| 全国1位                                 | 消防団員数 4万2,711人   |
| 消防庁「消防白書」(平成28年4月1日現在)               |                  |
| 全国2位                                 | 認定こども園の施設数 322施設 |
| 内閣府調べ(平成28年4月1日現在)                   |                  |
| 全国2位                                 | 都市公園面積 6,767ha   |
| 国土交通省「都道府県別都市公園整備水準調査」(平成27年3月31日現在) |                  |
| 全国3位                                 | 常設映画館数 67施設      |
| 厚生労働省「衛生行政業務報告」(平成28年3月31日現在)        |                  |

## ひょうごの産業

|      |                          |        |                              |                         |
|------|--------------------------|--------|------------------------------|-------------------------|
| 農水産物 | 63.4% 酒米「山田錦」※1 2万5,074t | 工業製品※4 | 67.8% 手引のこぎり 56億9,200万円      | 31.8% マーガリン 278億3,500万円 |
|      | 41.4% 丹波黒(黒大豆)※2 1,447t  |        | 41.2% 線香類 112億5,000万円        | 26.6% 清酒(濁酒を含む) 1,152億円 |
|      | 24.1% ずわいがに※3 1,064t     |        | 42.5% ゴム製履物用品 27億1,800万円     | 23.5% コーヒー 468億1,900万円  |
|      | 36.9% いかなご※3 1万792t      |        | 29.3% 婦人用・子ども用革靴 165億9,700万円 |                         |

## 県政の総合的な相談窓口

困ったとき、まずは「さわやか県民相談」へ

県政へのご意見・ご要望や、日常生活の相談など。

※その他、県庁でも受け付け ☎078(371)3733[相談日時:月曜～金曜(祝休日、年末年始を除く)9時～12時、13時～17時30分]

- ▶神戸 ☎0120(16)7830
- ▶阪神南 ☎0120(13)7830
- ▶阪神北 ☎0120(47)7830
- ▶東播磨 ☎0120(26)7830
- ▶北播磨 ☎0120(61)7830
- ▶中播磨 ☎0120(27)7830
- ▶西播磨 ☎0120(83)7830
- ▶但馬 ☎0120(31)7830
- ▶丹波 ☎0120(32)7830
- ▶淡路 ☎0120(36)7830

相談日時:月曜～金曜(祝休日、年末年始を除く) 9時～17時30分  
※12時～13時は転送電話により神戸(県民総合相談センター)で対応

※通話無料(携帯電話からはつながりません)

## 県民総合相談センターでの専門相談

相続や離婚などの家庭問題、認知症・高齢者、エイズ、登記、住まい、交通事故、外国人県民、国の行政、法律の専門相談窓口を開設。

☎078(360)8511

電話受付日時:月曜～金曜(祝休日、年末年始を除く) 9時～12時、13時～17時30分

※専門相談窓口は開設曜日・時間が決まっているので、事前にご確認ください